

役員ローテーション制の導入について

コロナ禍で世界の仕組みや価値観が大きく変わる今、発足 30 年を迎えた当会も、最大の転換期を迎えています。

長年、たった一人で事務局（会計・入退会管理・総会運営）を務めてくださった佐々木さん（元松江市立病院）の異動・離任は当会の根底を大きく揺るがし、役員会は事務局業務の整理と引継ぎに右往左往する事態となりました。

今回の事態で、いかに当会が、佐々木さんの長年のご尽力に支えられてきたかを思い知ると同時に、「個人のご厚意に長年甘え続けるシステム」の危うさ・限界に改めて気づかされる事となりました。

今後このような混乱に陥らないためにも、特定の人に役員業務を負担させ続ける“ご厚意頼み”のシステムを見直し、全会員が役員業務を経験・共有することで、担当者の急な異動・退職にしっかり対応できる「ローテーションシステム」を構築することが、当会の存続には必要不可欠であると考えました。

この 30 年の間に、病院図書室をめぐる状況は大きく変わりました。現在では、図書室担当者の勤務形態も、非常勤や兼任、時間勤務の方が半分以上を占め、役員業務への協力が難しい方がいらっしゃることも重々承知しております。しかしながら、コロナ禍等で病院経営がさらに厳しくなる中、この傾向は今後さらに拍車がかかることが予想され、この先、役員を引き受けられる施設の絶対数が減少していけば、当会の運営自体が危ぶまれる事態となります。

当会は「会員相互の緊密な連携と協力により、生命を扱う『医学知識』という情報を提供する“病院図書室の使命”を果たす」目的で設立されました。会員間の「相互協力」と「緊密な連携」により、文献複写料金の引き下げや、利用者に寄り添った柔軟な複写対応を実現し、医学情報を入手するうえでの最大のメリットを“全会員へ公平に”提供し続けています。

しかし、メリットは公平であるものの、図書室の規模や蔵書数の違いから、どうしても施設間で文献複写受付件数に格差が生じるのは事実です。だからこそ、役員活動においては、全会員が公平に“One Team”として「全員協力」し、会員間の公平性を保ちながら、より結束を強めることが重要となります。

初めて役員を務められる方や、勤務状況で協力が厳しい方の不安をなるべく軽減できるよう、ローテーションシステムの工夫・改善を重ねていく所存ですので、当会の存続と目的実現のため、どうか皆様のお力をかしていただきたく、ご協力を宜しくお願い致します。

旧システム（ご厚意頼みシステム）

- ◆人選に難航する。（受けてくれる人が限られる）
- ◆いつも同じ人が担当するため、特定の人（施設）に負荷がかかる。
- ◆再任の繰り返しにより、任期が長期化する。
- ◆個人頼みのため、担当者の退職・異動に左右される。
- ◆限られたメンバーでまわしているため、後継者育成の余裕がない。
- ◆業務内容が、特定の人しかわからない。



ローテーションシステム

- ◆総会での役員選出が不要となり、4月～3月の任期が一定に保たれる。
- ◆先の予定が組めるため、会員が自施設の役員予定を事前に把握することができる。
- ◆会員間の公平性が保たれる。
- ◆役員業務を経験することで、ネットワークへの理解が深まる。
- ◆業務の共有化により、担当者の急な異動・退職もカバーできる。
- ◆（ILL 以外の）会員同士の関わりが増え、情報共有や意見交換が活発化する。
- ◆業務内容の見直し（業務軽減化・マニュアル化）のきっかけとなる。

【ローテーションシステムの工夫】

- ① 一人ひとりの負担を軽くするために、1つの役を3名のチームで担当してもらいます。
- ② 少しずつ仕事を覚えてもらえるよう、役員未経験者にはサポート役から始めてもらいます。
- ③ チーム内にその役の経験者を必ず2名入れ、未経験者が業務を覚えてもらいやすい環境にします。
- ④ ローテーション実施前には、各役員業務を見直し、業務の軽減化を図ります。
- ⑤ 業務を共有化しやすいよう、各役員業務のマニュアルを作成し、ホームページで公開します。
- ⑥ チーム内で解決できないことは、各役員OBに相談していただければ、サポート致します。

※実際の運用の中で、改善すべき点が見つかりましたら、その都度検討させていただきます。

各役員業務の概要については別紙「役員会組織図及び役員業務概要」、ローテーションシステムの詳細については別紙「役員ローテーションシステム（案）」「役員ローテーションイメージ図（案）」をご参照下さい。

役員ローテーションシステム（案）

1. 入退会及びWeb 目録委員、総会委員、ホームページ委員、会報委員、統計委員

ローテーションの基本ルール

- ・個人当番制ではなく、施設当番制とする。（任期内に担当者が退職・異動となった場合は、**基本的にその施設の後任が引き継ぐ。**）
- ・各役員は**3名のチーム制**とし、役員経験者2名と役員未経験者1名で構成する。
- ・役員内の役割分担は、リーダー（経験者）、サポート1（経験者）、サポート2（未経験者）とする。
- ・各役員の**任期は3年**とし、任期の最後（3年目）には必ずリーダーを受け持つ。【サポート2（1年目）→ サポート1（2年目）→ リーダー（3年目）】
- ・リーダーを務めた施設は、翌年度からその役を外れる。

例）入退会及びWeb 目録委員

担当年度	リーダー	サポート1	サポート2
2021年度	松山市民（松長さん）	近 森（西川さん）	A 病院（New!）
2022年度	近 森（西川さん）	A 病院（2年目）	B 病院（New!）
2023年度	A 病院（3年目）	B 病院（2年目）	C 病院（New!）

～ ローターションに際し、役員の皆様をお願いしたいこと ～

- ①役員は施設当番制です。任期中に担当者が交代になる場合は、**施設内で後任へ役員業務の引き継ぎ**をしっかりと行って下さい。
- ②新任者でも役員の基本業務がわかるよう、各役員の「**業務マニュアル**」（2020年度役員作成）を中四九ネットホームページ「**会員サイト**」内に掲載予定です。
リーダーは、状況に応じ、この「**業務マニュアル**」の改定を行って下さい。
- ③リーダーは、翌年度から自分がいなくなることを想定し、全ての仕事を自分でやってしまうのではなく、サポート1.2と**仕事を共有**するよう心掛けて下さい。（役割分担、情報共有 等）
- ④サポート1.2は、いずれは自分がリーダーを務めることを想定しながら、積極的にリーダーから役員業務を学んで下さい。
- ⑤図書担当者の勤務状況は、各施設で異なります。リーダー当番施設に、新任者や兼任・時間勤務の方が当たる場合もあります。その場合も、3人のチームワークで補い合いながら、役員活動を行って下さい。（そのためのチーム体制です。）
- ⑥役員業務の中で何かわからない事、悩む事がありましたら、ご遠慮なくOB（前リーダー）にアドバイスを求めて下さい。

2. 会計・監査

- ・会計（主担当1名）は、口座や印鑑の管理が必要であり、担当が頻繁に変わることは望ましくないため**任期は定めない**が、諸事情で業務継続が難しくなった場合は、担当者の交代を会長に申し出ることができる。
- ・**会計のサポート役**を常時1名置き、会計主担当に異動・退職があっても、すぐに会計を引き継げるよう、業務の共有化を図る。
尚、主担当交代の際に、会計サポート役が主担当業務を引き継げない場合は、会長が新たな主担当者を、会計サポート経験者より選任する。

- ・会計サポート（1名）、監査（2名）は、3名のチーム体制とし、任期は3年のローテーションとする。任期の最後（3年目）には、必ず会計サポートを受け持つ。【監査2（1年目）→ 監査1（2年目）→ 会計サポート（3年目）】

3. 会 長

- ・会長職は役割上ローテーションという訳にはいかないが、会長の急な異動・退職に対応できるよう、**次期会長候補（会長代行もしくは会長補佐）**を常時1名置く。
- ・会長代行（会長補佐）は、現会長より任命、もしくは、会員選挙により決定する。

役員ローテーション イメージ図(案)

こちらはイメージ図です。実際の当番表ではありません。

※ローテーション除外施設

会 長	小倉記念病院
会長補佐	未 定

会員機関: 53機関 (2020年8月時点)

2020年度役員: 14機関

新担当: 39機関

※任期の定めなし、異動・退職時には会計サポート役に引継

会計(主担当)※口座・印鑑管理者	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
製鉄記念八幡病院											

※L:リーダー、S1:サポート1、S2:サポート2

入退会及びWeb目録委員	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
松山市民病院	L										
近森病院	S1	L									
高知リハビリテーション専門職大学	S2	S1	L								
会員1		S2	S1	L							
会員2			S2	S1	L						
会員3				S2	S1	L					
会員4					S2	S1	L				
会員5						S2	S1	L			
会員6							S2	S1	L		
岡山旭東病院(2巡目)								S2	S1	L	
倉敷成人病センター(2巡目)									S2	S1	L

2巡目は下記の役へ移行



統計委員	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
近森病院	L										
高知医療センター	S1	L									
会員7	S2	S1	L								
会員8		S2	S1	L							
会員9			S2	S1	L						
会員10				S2	S1	L					
会員11					S2	S1	L				
会員12						S2	S1	L			
会員13							S2	S1	L		
松山市民病院(2巡目)								S2	S1	L	
高知リハビリテーション専門職大学(2巡目)									S2	S1	L

2巡目は下記の役へ移行



総会委員	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
倉敷中央病院	L										
岡山旭東病院	S1	L									
会員14	S2	S1	L								
会員15		S2	S1	L							
会員16			S2	S1	L						
会員17				S2	S1	L					
会員18					S2	S1	L				
会員19						S2	S1	L			
会員20							S2	S1	L		
近森病院(2巡目)								S2	S1	L	
会員7(2巡目)									S2	S1	L

2巡目は「会計(サポート)・監査」へ移行



※会計S:会計サポート

会計(サポート)・監査	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
岡山市立市民病院	会計S										
雲南市立病院	監査1	会計S									
JCHO九州病院	監査2	監査1	会計S								
会員21		監査2	監査1	会計S							
会員22			監査2	監査1	会計S						
会員23				監査2	監査1	会計S					
会員24					監査2	監査1	会計S				
会員25						監査2	監査1	会計S			
会員26							監査2	監査1	会計S		
倉敷中央病院(2巡目)								監査2	監査1	会計S	
高知医療センター(2巡目)									監査2	監査1	会計S

2巡目は下記の役へ移行



会報委員	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
津山中央病院	L										
出雲市立総合医療センター	S1	L									
会員27	S2	S1	L								
会員28		S2	S1	L							
会員29			S2	S1	L						
会員30				S2	S1	L					
会員31					S2	S1	L				
会員32						S2	S1	L			
会員33							S2	S1	L		
雲南市立病院(2巡目)								S2	S1	L	
JCHO九州病院(2巡目)									S2	S1	L

2巡目は下記の役へ移行



ホームページ委員	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
岡山旭東病院	L										
倉敷成人病センター	S1	L									
会員34	S2	S1	L								
会員35		S2	S1	L							
会員36			S2	S1	L						
会員37				S2	S1	L					
会員38					S2	S1	L				
会員39						S2	S1	L			
津山中央病院(2巡目)							S2	S1	L		
出雲市立総合医療センター(2巡目)								S2	S1	L	
会員27(2巡目)									S2	S1	L

2巡目は「入退会及びWeb目録委員」へ移行

